

光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2015年10月号>

103号 2015.10.02配信

秋はイベントの多い季節です。9月26日『ワーキング秋祭り』がにぎやかに開催されました。参加された皆様の「楽しかった!」「また参加したい」という声を聞くと、「やって良かった」「次は何をしようかな～」と思います。次のワーキングイベントにも、是非ご参加ください。

■学園だより

- ◆10月3日（土）第5回 オープンキャンパス
- ◆10月5日（月）先哲の慰霊祭
- ◆ご案内

大学からのお知らせ

【文化研究講座】

10月6日（火）18:15開演

川久保賜紀&村治奏一 デュオコンサート

*空席あり。電話にて申し込みを受け付けます。

【問合せ】 人見記念講堂事務室 電話03-3411-5120

【特別公開講座】

10月24日（土）10:40~12:10

プラド美術館の至宝—王室コレクションと美の継承—

講師：昭和女子大学人間文化学部歴史化学科 同大学生生活機構研究科 木下 亮教授

受講料：無料 会場：昭和女子大学内教室（当日守衛室でご案内します）

申込み先：昭和女子大学オープンカレッジ

申込み方法：E-mail、電話、Fax

① 受講希望日 ②氏名 ③連絡先 をお知らせください。

E-mail：opencl@swu.ac.jp 電話：03-3411-5100 Fax：03-3411-5130

*受講の可否についてはこちらから連絡させていただきます。

申込み後1週間を過ぎても連絡がない場合は、恐れ入りますが再度お問い合わせ下さい。

■同窓会だより

- ◆光葉同窓会推薦入学試験 出願期間 10月19日（月）～27日（火） 当日消印有効
試験日 11月8日（日）
合格発表 11月13日（金）

- ◆今月号では、「中学・高等学校教職員ワーキングネットワーク」と「ビジネスワーキングネットワーク」の報告、11月号には「小学校ワーキングネットワーク」と『食』関連ワーキングネットワーク」を報告いたします。

■中学・高等学校教職員ワーキングネットワーク

「協同的な学び合いによる授業研究－アクティブ・ラーニングの演習をとおして－」

講師：後藤文子さん（神奈川県立七里ガ浜高等学校教頭 1983年日本文学科卒）

授業内容に入る前のウォーミングアップとして、4人ずつのグループに分かれ、発言する順番を決めた。各自の発言に対して、前向きな意見や相槌をすることをルールとし、名前と朝食に何を食べてきたか、という自己紹介をおこなった。そして、先生より本日の課題は「枕草子」で、最初に授業目標が発表された。

その後、「雪のいと高う降りたるを」の7行の文章を、チーム内の4人で配役を決め、朗読の練習を行った。その内容の理解について、グループ内で意見交換を行い、各グループ毎に、討議の発表を行った。理解が早い人は、メンバー若しくは、他のグループに教える学び合いを体験。そして、先生が予め作成した問題文章の空欄を、メンバー4人で相談の上、資料の文章から探し出して、記入を行った。

実質的な授業は20分程度ではあったが、盛りだくさんの情報が提供された上で、更に、各自の知識の定着が図られた。

残り30分において、「協同的な学び合いによる授業研究－アクティブ・ラーニングの演習をとおして－」というテーマで、実際の授業体験を踏まえて、アクティブ・ラーニングを行う意義について講義が行われた。

まず、学校現場の授業の現状における課題の認識と、世の中の変化に伴い、学校教育に求められるものが大きく変化していることの現状把握が行われた。

「教えるパラダイム」から「学びのパラダイム」への転換を行うことが重要で、かつて教員が劇役者、生徒は観客（傍観者）という役割分担であったものが、教員はコーチ、中心は選手（生徒）である、というようにシフトしてきている。

そのため、課題解決に向けて、安心・安全な環境づくりとして、①生徒が安心して授業に臨めるように、毎時間、本授業の目標を知らせる。②生徒が安全に授業に臨めるように、間違えや失敗しても恥ずかしくない環境づくりと共に、授業の土台づくりとして、①自分の居場所を確認させる、②他者の存在承認をさせる、③授業のあと、自分の目標達成を考えさせる時間を持つことが重要になる。

そして、「学び合い」の結果として、教える立場になった生徒は、知的好奇心が向上し、好き・得意科

目へと変化し、自己肯定感が高まるなどの効果があり、教えられる立場になった生徒は、友達に気軽に質問できる、分かる喜びを友達と一緒に共有できる、好きな科目になるきっかけになる、授業参加意識の自覚が高まるなどの効果がある。

今後、時代は変化していくので、進化し続ける授業を作ることの重要性、主役は生徒であり、教師は生徒のために、学校全体・組織で取組み、教師同士の学び合い、情報交換を行うと共に、教師チーム・仲間を作り、生徒たちが生き生きと学び合う学校文化を築いていきたい。

(文責：ワーキングネットワーク委員 内藤論子)

【感想】

東谷 櫻子 2013年 院. 文学研究科 日本文学専攻(博士前期課程) 修了

「生徒が主役になり、意欲的に学べる学校現場を作る」

現在、本学の博士後期課程で近代文学を研究し、同時に社会人として主婦業とパートタイムで学習塾の講師をしています。

前半に古典『枕草子』の模擬授業があり、後半は「協同的な学び合い」についてのお話がありました。

前半の模擬授業は、生徒役が4人グループになり話し合いを中心に進める形態で、自身の高校生の頃とは異なり、とても新鮮さを覚えました。このグループで話し合う授業形態は「協同的な学び合い」を目標としたもので、教師が一方向的に知識を与えるのではなく、生徒の知的興味や気づき、驚きを引き出すためのものだそうです。

私は、学習塾の講師として、常に心がけていることがあります。それは「塾は裏方である」ということです。子どもが「学ぶ場」は学校であり、彼らにはそこで主役として輝いて欲しいと願っているのです。

学習塾はビジネスです。点数向上や合格結果を求めて、親は月謝を払い子どもも頑張って通い、私はプロとして誇りを持ってそれに応えています。子どもが学校で自分の可能性を存分に発揮できるよう、日本の受験形態が大きく変わるまで、裏方として知識や点数を意識し取り組みたいと思っています。

しかし、効率主義のカリスマ塾講師、点数主義、高倍率競争などは華やかで注目されますが、「教育」にはけして数字で表せない尊さがあると考えています。

今回のテーマである「生徒が自発的に学び考えることができる授業」は生徒が主役になり、意欲的に学べるものだ実感しました。

学校現場が目指す「学び」を知ることができ、大変有意義な機会となりました。

■ ビジネスワーキングネットワーク

『図書館ツアーとビブリオバトル』

講師 昭和女子大学図書館次長 高橋典子氏

「図書館？卒業してから一度も行っていないわ」「最近、区の図書館に行ったけど蔵書が少なくって」「ネット検索ばかりで、“本”読んでいません」というビジネスの仲間を誘って、『図書館』に集まりました。本学図書館は、今年4月に開架閲覧室がリニューアルオープンしました。「図書館は“静”と“動”をテーマに空間を作っています」と次長の高橋典子先生からご説明を受けながら広い館内を見学してまわ

りました。3階はグループスタディルーム、コミュニティルーム、フリーラーニングスクエアなど、共同学習ができる“動”のエリアです。パソコンはもちろん、電子黒板、iPad、リスニング席、新聞記事検索データベースなど、書物だけでなく、様々な形で情報を得ることができます。4階は個人閲覧室、研究個室など“静”のエリアです。閲覧机に仕切り板があり、個人の空間を大切にしています。「卒業生の皆さんも図書館を利用できます」と伺い、図書館カードを作りました。(卒業生はどなたでも図書カードを作って図書館を利用できます。詳しくは昭和女子大学図書館カウンターにお問い合わせください)

ツアーの後は、『ビブリオバトル』を行いました。参加者がお気に入りの本を持ち寄って、その内容を5分間で紹介し合い、聴衆が一番読みたいと思う「チャンプ本」を選ぶという“知的書評合戦”です。

【発表参加者とお気に入りの本】

- ◇中島 正子さん (1972年 生活美学科卒) 『聖書』
- ◇横井千香子さん (1971年 英米文学科卒) 『日本国債 (幸田真音)』
- ◇木村 葉子さん (1990年 日本文学科卒) 『わすれられないおくりもの (スーザン・バーレイ)』
- ◇高田かおりさん (1981年 生活科学科卒) 『加速する肥満 (ディードリ・バレット)』

チャンプ本は！同点で横井さんの『日本国債』と高田さんの『加速する肥満』でした。

(文責：ワーキングネットワーク委員 磯辺まみか)

【感想】

中島 正子 1972年 生活美学科卒

私は、始めは「食」関連にしようかと考えましたが、「図書館ツアーとビブリオバトル」を選びました。今まで読んだ本の中で大好きな本は沢山ありますので、とても一冊厳選するのは難しいですね～私が小学校一年生の時、三冊の本を買ってもらいました。「愛の一家」と「何故だろう何故かしら？」そしてもう一冊は「ジキル博士とハイド」です。「赤毛のアン」も夢中になり、山本周五郎、藤沢周平、池波正太郎などの本も味わい深いですが、66年のキャリアを通じ私の人生において大人の教科書となるのが「聖書」でした。

当日、先ずは館内ツアーを駆け足でしました。サロン風フロアー、よく整った設備や配慮された館内に驚きを隠せません。次いで磯辺常任委員会の上手な司会のもとで、横井会長は「日本国債」を、木村さんは「忘れられない贈り物」の絵本を、高田さんは「加速する肥満」を取り上げ、私の「聖書」も含めてそれぞれ5分間のビブリオバトル開始です。初めての経験に、時間があっという間に過ぎてしまう程充実していました！投票で横井会長と高田さんの推薦本が選ばれましたが、本のみならず人と人の心の交流もあり参加して本当に良かったと感じました！今後も是非色々な企画をして頂きたいものです。

■広げよう光の葉

平井 恭子さん 1979年 文家政学部英米文学科卒業（奈良県支部長）

『和』

大学を卒業して36年になります。卒業後、本州四国連絡橋公団本社に入社し、秘書室に配属。運良く4歳上で昭和の国文を卒業された先輩がおられ、色々と助けていただき、昭和の繋がりに感謝の日々でした。この頃、エチオピアへ日本から橋梁技術が提供され、エチオピアで橋を造るというプロジェクトがありました。エチオピア大使館へ訪問したり、イギリスの大学を卒業し、日本の橋梁技術を学ぶために来られたエチオピアの研修生とお会いする機会を与えられたり、貴重な経験をさせていただきました。橋の模型を見ている私に役員の方が日本の橋の技術は世界一。何年かの内にこの3ルート全てが完成するから楽しみにしなさいと。たったの2年間でしたが、携わることが出来て誇りに思います。

2年後、退職、結婚、出産。そしてその3年後、自治省（現総務省）から奈良県庁への主人の転勤に伴い、主人が生まれ育った聖徳太子ゆかりの町、奈良県王寺町へ引っ越し。王寺町は大阪への西の玄関口で聖徳太子と達磨大師の出会いの説話に由来する達磨時があり、近くには世界遺産の法隆寺や信貴山朝護孫子寺もあります。四世帯同居、隣近所が主人の身内という中で25年間続けた医療事務のパートの仕事しながら家事、育児、祖父母の世話をしてきました。辛くて秋田の空の彼方を眺め、涙したことがありました。素晴らしい友人、思いやりのある親戚の方、優しい主人、そして昭和の教えが支えとなり、頑張ることが出来たと思います。

3年前、主人が町長選挙に出馬すると私に決意表明。何とビックリです。人口減少、少子高齢化のこの時代を王寺町から奈良県を変えてみせるという主人の熱い思いに私も賛同し、共に立ち向かっていこうと決心しました。5か月間ほど朝5時に起きて駅立ち。町内を2人で歩き、ミニ集会を開き、多くの方の話を伺い、主人の思いや施策を聞いてもらいました。本当に人との出会いに感謝感激の日々でした。靴を2足潰すほど歩きましたが、一度も苦しいと思った事はありません。25年2月3日が投票日。現役の方に大差で勝利する事が出来ました。今は町内外の方から王寺町は活気に溢れ、動いていると感じられる町だねとよく言われるようになりました。小さな力の私ですが、主人の両親の介護を人生の修行と思い、主人を全力でバックアップし、和を以って「世の光となろう」という言葉を胸に生きていく覚悟です。私は特に若い女性の言葉に耳を傾け、近い将来、我が家を提供して女性の交流の場、情報交換や問題提起の場として活用したいと思っています。

達磨時には聖徳太子の愛犬と言われる「雪丸」の石像があります。2年前、ゆるキャラ雪丸を登場させ、主人が王寺町の観光広報大使に任命しました。可愛いですよ。先日、歩いておりましたら、小さなお子さんに「雪丸のお母さん」と声をかけられ、「はい」と答えました。

皆さん、是非、日本のふるさと奈良へ、そして聖徳太子ゆかりの地、王寺町のシンボル「雪丸」に会いに来て下さい。

End

2015年10月～12月の運勢

虫の音が秋の訪れを告げています。乙未(きのとひつじ)の今年の秋、台風や大雨による土砂災害や、火山の活発な活動といった土にかかわる自然災害には特に注意が必要となりましょう。

また、気温が下がりはじめますと体調も不安定になりがちです。身体が徐々に寒さに対応できるように準備を始めますので、生姜や蜂蜜、シナモンなどで免疫力を高めて健やかに実りの秋を迎えましょう。皆様のお幸せをお祈り申し上げます。

◎十二支別 2015年10月～12月の運勢◎

子	少しの間仕事の事を忘れて、自分にご褒美をあげましょう。
丑	頑張らない方が上手くことが運ぶとき。流れに任せましょう。
寅	間もなく願いが叶います。良い知らせが舞い込むでしょう。
卯	引き寄せの力が高まっています。願望の実現を考えましょう。
辰	願い事は言葉で口に出して発信しましょう。実現が加速します。
未	いつになくパワフルです。問題は難なく解決できるでしょう。
午	貴方に似た考えの人が集まってきます。観察してみましょう。
未	直感が冴えわたっています。最初に浮かんだことが正解です。
申	癒しの時間をとりましょう。それは周囲の人々をも癒すのです。
酉	心配は望まないものを引き寄せます。自分を信じましょう。
戌	新しいことに挑戦する時。もう古くなったものは手放しましょう。
亥	過去にこだわっていませんか。今は振り返らず前に進む時です。